編輯室内外

紅雲を收め盡して翠帷を展ふる五月とはなりぬ。英國派と獨逸國派の北歐及中歐に於ての戰雲は愈々濃化されて其の雲脚は東洋南方の群島にまで波及せんとするに至つた。實に力と力、經濟と經濟、兵器と兵器、宣傳と宣傳のたゝかひである。「仁遠かならんや、吾仁を欲すれば斯に仁至る」といつても事の實際は中々仁至るとは一の夢想に過ぎざることである。

百五十億圓の歳計豫算は公布されたが、經濟事情は之を其の儘實行することは許さないので、政府は物動計畫や價格統制などと睨み合はして檢討を加へ實行豫算を編成するの必要に迫られ。税制の革新や複雜詳密を極めた諸種の法律は發布されて兎角法律を面倒視する我國民を惱ますこととなつた。盡忠報國、堅忍不拔の徹底化を圖るが爲めか夫れかあらぬか、政府は十有六府縣の長官と七十餘名の地方廳事務首腦部の異動を行ふた、此多人數の地方官の異動に依つて如何なる成續を學ぐべきか、走馬燈の如きめまぐろしき官界の變動は之も時代の要求の反映であろうか。

自治體發展の原動力は斷じて物質ではない。人の代表ともなるべきものはまた雅量と謙讓の美徳を涵養せねはならない、利己を去れ。と岩國町前町長永田進之允氏は市制施行に際し町民を戒しむる所があつた。之れ唯に地方團體のみでなく國内政治に於ても外交に於ても然らざるを得ない。寔に明言至言である。「矢張政治は政治家へ軍は國防へ官僚は行政へ各々その自分の立場に立つて行く、これが國民的要求だ」と赤松克磨氏は談る、然り。政治の衛に嘗るものは己を僞らざる心構が大切であるぞよ。

軍にも技術者時代が視らるることとなつた。陸軍は軍人のみで組織さると見られたのも、過去の歷史である。複雑微妙な近代戰闘になつては斬新な兵器の機械化を不斷に發達せしめねばならぬ。陸軍では陸軍航空工廠製造所長に波多江技師を陸軍兵器本部課長に熊谷技師を任命した、「技術に關して自分の識見を現はして行く途が披かれた譯で信念ある作業振が益々發揮される事である、「厭くまで信念と實行です」と波多江所長は談る實に然かあるべきことである。

這次の歐洲動亂はベルサイユ條約に依る體制がもたらした失敗に原因する世界的危機と視らるべきものである。先進民族と自稱するものが後進民族と認めらるるものを支配と彼支配との關係に立たしめて世界的平和を期待するは噴火山上の舞踏に過ぎないとも見らるる。正義と理解と仁愛とを基調とした協同體の結成こそ望ましき體制ではなからうか。ボルシエヴイズムによる社會の破滅とデモクラシーによる文化の死、此二つよりわれら現代人を匡救し得るものの建設は如何に。

世の中には二十歲代の老人もある、八十餘歳の青年もゐることが事實に依つて辨證せらるゝ。優生術や體位向上法も施こすに由なき壯者も顔マケする人物は丹波の國龜岡の笠井彌太郎翁である「わしは死ぬまで青年ぢや」と六十四歳の身を以て心ばかりでなく身體も潑剌で實際青年團長であつて青年の心を能く理解し、全くの青年となつて心の中にとけ込み、自己の人格を移し植へて健全なる青年の養成に寢食を忘れて居ると言ふまことに快心の事である。夫れと少しく環境を異にするが明治十四年以來京都府廳に六十年間の官吏生活を續け、送迎したる知事は二十四人、七十四歲の身を以て今尙矍鑠として勤務されて居る道路主事丹羽氏行氏の如き實に青年も及ばざる人物である。

街にはスピードを誇るシボレーが走る、數多きフオードが見らるる、ハイスピード時代は實に快速に移動し舊時代の人力車の余命をつなぐ餘地もないのである。わが世の春はモウ來ぬかと挽歌を唄ふは人力車夫の嘆きかと思はれたが流し自動車の夜半からの營業禁止は人力車の甦生を餘儀なくさしたと果して然るか是も一時の反動的現象か。（洸）

定價一部　五十錢
一ヶ年分　金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省内
發行所　社團法人　道路改良會
東京市世田谷區代田一丁目七八〇
電話銀座(57)四二一七
發行者
編輯者　小島效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所　常磐印刷所
印刷者　奈良直一